

事業所名

こども療育センターきりとも「いろはな」

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

31日

法人（事業所）理念	・「いつでも・だれでも」をめざして児童の健全育成を支える・地域を支え、地域に支えられる施設をめざして・こどもの権利を守ることをめざして子どもらしく、心身ともに健康で皆に愛される人へ成長できるできるように支援します。保護者の心に寄り添いながら子育てを一緒に考えます。							
支援方針	こどものありのままの姿を受け止め、子どもたちが安心して過ごせる空間をつくり存在になります。発達の芽を見つけ、保護者に伝えながら環境や支援の方法について考えていきます。こどもが自分自身で気づき、わかり、行動し、自ら育力を獲得していくように支援します。こどもの心を引き出しながら心を育てます。家族の悩みを受け止め、寄り添い、支え、そして家族の休息のためにも支援をします。							
営業時間	9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※要相談
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康な身体の維持や改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得。 食事・排泄・着脱・身の回りを清潔に保つ等、基本的な生活習慣を身につけられるように、スモールステップで支援を行う。 食事は楽しく食べることで健全な心身を育てます。						
	運動・感覚	運動機能・バランス感覚・力の強弱・距離感・様々な身体感覚や感触に触れ、感覚の成長を支援する。 サーキット（平均台等）を利用して身体の動かし方を学び、運動能力の向上につなげる。 音楽の持つ柔軟で幅広い特性を用いて、子どもの情動に働きかけながら総合的な発達を促す。 身体支援と生活環境の支援を行い運動発達を促す。						
	認知・行動	認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を支援する。 大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるように支援を行う。 着席、よく見る、苦手なことも頑張ってみる等、課題に向き合う姿勢や力を養う。楽しく学校へ通えるきっかけになるように支援する。						
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的な力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援。 言葉だけではなく指差しや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、個々に合わせた支援を行う。 言葉と認知の発達のために、臨床発達心理士や言語聴覚士の個別指導を行う。						
	人間関係 社会性	アタッチメントの形成と安心・安全・安定、遊びを通じた社会性の発達、自己理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加の支援を行う。 環境に対する安心感、人に対する信頼感、自分に対する自己肯定感を育む。ごっこ遊びやルール遊び等を通して社会性の発達を支援する。 待つ・譲る等の気持ちのコントロールする力を育む。						
家族支援	保護者の気持ちに寄り添い、子どもの成長を確認し共感する。子育てに関する困りごとに対する相談援助。個別面談を定期的に実施する。	移行支援	学校や他の放課後等デイサービス事業所と連携を図りながら、地域移行を行う。 ライフステージの切り替えのを見据えて、移行に向けた準備をする。					
地域支援・地域連携	子どもに関わる地域の関係者や関係機関との連携をする。	職員の質の向上	定期的な研修の実施。 外部研修への参加。 研修に関する情報提供。					
主な行事等	ハロウィン会・クリスマス会・餅つき・豆まき・お別れ会・調理学習 避難訓練(毎月)・懇談会・面談 身体測定(毎月)							